

大阪府立大学貴重図書専門部会講演会 実施報告 『 古典籍の魅力』

引用	学術情報センター年報 情報. 23, p.13-13
URL	http://hdl.handle.net/10466/15625

大阪府立大学貴重図書専門部会講演会実施報告 『古典籍の魅力』

学術情報室 呉家 静

大阪府立大学貴重図書専門部会は、2009年度より、本学が所蔵する貴重図書を広く府民の方にも知っていただく機会となるよう、大学の公開講座として講演会を実施している。2016年度は、上方文化研究センターと学術情報センター図書館の主催事業として企画し、11月25日（金）にI-Site なんばカンファレンスルームにて開催した。（参加者27名）

■第1部：“もの”としての古典籍

講師：西田 正宏 氏（大阪府立大学 教授）

外見に注目して書物を整理してゆく学問である「書誌学」の視点から、「もの」としての古典籍の魅力について、西田教授による講演会を開催した。国文学研究資料館の文献資料調査で実際に使われている書誌カードに記載されている項目について、本学所蔵の貴重図書を例に挙げながら、詳しい解説があった。



■第2部：和本の歴史と修復について

講師：品川 晃二 氏（株式会社 大入）

平成の和本の歴史を振り返りながら、文化財史料の紙（和紙）の特性や修復事例について、大学図書館や博物館等に収蔵されている文化財の保存と修復を行っている株式会社大入の品川氏による講演会を開催した。実際に、同社が修復した和本を例に、修復、保存、装幀、デジタル・アーカイブ等、各分野における伝統的な技法の紹介があった。

